

(様式2)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

(今治南高等学校)

学校番号 (15)

評 価 実 施 日		令和 8 年 2 月 19 日 (木)	
委 員	氏 名	所 属 等	備 考
	佐伯由紀子	たんぽぽ幼稚園 園長	
	片上裕之	常盤公民館 館長	
	八木良太	今治市地域福祉課地域福祉係 係長	
	赤瀬臣弥	越智今治農業協同組合 営農経済担当常務	
	高井 剛	今治市立西中学校 教諭	
	亀田義彦	今治市市民参画課 人権教育指導員	
	矢野和弘	今治南高等学校 P T A 会長	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
今年度の最終評価について (1) 学習活動 教育活動へのICTの活用はある程度進んでいる状況である。今後は質の向上に努めていただきたい。また、使用時のルールの設定など慎重な判断が必要がある。 学習の習慣化は進んでいるが、計画的な取組にはまだなっていない。今後、自己管理能力を伸ばす取組を期待したい。	・ ロイロノートやteamsを用いた授業を展開することで、効率的で個別最適な学びの実現に繋げていきたい。また、情報モラルについても、情報の授業やHR活動、講演会を通して実践力を養っていきたい。保護者への連絡に活用しているteamsやマチコミをさらに活用し教職員の業務改善を進めていきたい。 ・ 高い進路目標や就職につながる資格の取得など、学びのモチベーションを高めるきっかけを具体的に設定させたい。また、継続的に学びに向かう自走力を身に付けさせるために、日々の授業を中心とした学習を行わせたり、部活動を通して心身を鍛えたりしていきたい。
(2) 生徒指導 9割の生徒が校則や身だしなみを肯定的に捉え、意識している点は評価できる。今後、ただ守るだけではなく、生徒が校則の意味を正しく理解したり、ルールメイキングに取り組んだりする等、主体的な取組にしていってほしい。	・ 校則に素直に従う生徒が一定の割合いるのは、全般的には良い傾向である。しかし、ルールの意味を理解したり、改善したりする意欲のある生徒は少ない。今後、校則検討委員会や生徒総会などを効果的に運用し、主体性のある生徒の育成に繋げていきたい。

交通事故が24件発生している。大きな事故にならないよう、一層の安全指導に努めていただきたい。	・ヘルメットの着用や自転車保険への加入は、ある程度徹底されている。軽微な事故が多く発生している原因としては、交通ルールの理解が徹底されていないことや危険察知能力が身に付いていないことが挙げられる。今後、交通安全教室や交通委員会、HR活動等を通して交通安全に主体的に関わる生徒の育成に努めていきたい。
遅刻欠席の生徒の悩みに寄り添った生徒指導を進めていただきたい。	・本校では遅刻生徒は、職員室で教頭が指導するようになっている。教頭と担任や学年主任、教育相談課との連携を密にとりながら、生徒の変容に早期に気付いたり、生徒を取り巻く問題や悩みに組織的に関わる体制を構築したりしていきたい。
学校を訪れた時に、気持ちの良いあいさつをしてくれる生徒が多いことにいつも感心する。生徒の気持ちの良い挨拶は、先生方のお手本のおかげと思ひ感謝している。	・高い評価をしていただきありがたい。しかし、現状はまだ不十分な生徒も多い。あいさつは、より良いコミュニケーションや人間関係の構築の第一歩であるという認識で、教職員から率先してあいさつに努めていきたい。
ネットいじめなどで命を失う事例もあるので、命の大切さを繰り返し指導していただきたい。	・ネットやSNS等のトラブルは、生徒にとって予想以上に身近なものである。講演会やHR活動、情報の授業など、あらゆる場面でその危険性に気付く力を養っていきたい。
(3) 進路指導 具体的な目標をほぼ達成しており、先生方の御指導と生徒の努力の賜物と思われる。今後も、新たな目標を設定して、引き続き学校の魅力化に努めていただきたい。 外部との交流活動等を通して、職業観も醸造されていると思われる。資格の取得も成果を上げており、生徒が自信をもって社会に踏み出せるよう今後も支援を続けてほしい。	・高い進路目標を持たせることや早期から計画性のある進路学習を行わせることを大切に、指導をしてきた成果が表れつつある。今後は、学力向上はもとより、地域課題の解決やイノベーション等にもさらに挑戦させ、生徒の進路実現の他、学校の魅力化に努めていきたい。 ・小中学校との交流活動やインターンシップ等、本校で長年行われてきた行事内容をさらにブラッシュアップし、正しい職業観や豊かな心の育成により一層努めていきたい。また、大学の出張講義や合同説明会等を新たに追加することで、生徒の可能性を引き出したリ適性を見定めたりする機会を増やしていきたい。

進路決定した３年生が、下級生に対して進路決定までのプロセスをプレゼンする機会等をICT（動画配信）で行うのも進路学習の意欲につながると思う。	・先輩の進路実績や合格までの過程は、後輩にとって極めて参考になる。今までもクラス単位等での取組はあったが、今後学校全体での取組になるよう、実施方法等を関係部署で検討をし、早期に実現できるようにしたい。
（４）特別活動 地域交流の実績は、今治南高校の大きなブランド力となっている。生徒の自己有用感の育成にもつながっている。100周年を迎えられこれからも地域に開かれた学校であるよう、地域に密着した活動に期待します。 <u>部活動への意欲的な参加が課題のように思える。高校生の時期の部活動は心身ともに鍛えられる機会なので、積極的な取組を今後期待したい。</u>	・今年度立ち上げた魅力化プロジェクトチームの活動のなかに、ルールメイキングや子ども食堂、科学探究活動等がある。それらを生徒主体で継続的に行っていくことにより、本校のブランド化につなげ、地域における存在価値を高めていきたい。 <u>・本来活気ある部活動は、本校の魅力の一つであるが、近年は、生徒数の減少や不況によりアルバイトをする生徒の増加傾向から、部活動を控える生徒が少なからずいる。今後、部活動の方法にも柔軟性を持たせ、様々な教育活動が両立できるようにしていきたい。</u>
（５）豊かな人間性 いじめや暴力、人権侵害を許さないの評価が先生も生徒も高いのは素晴らしいと思う。今後、表面的な成果に留まらず、多様性を認め尊重できる豊かな人間性を育む継続的な人権教育をお願いしたい。 他人とのトラブルはどの社会にもあるが、相手の立場や考えを尊重することができる指導を進めていただきたい。 校内で出会った生徒の皆さんは気持ちの良い挨拶ができています。今後も元気な声が自然と出るよう指導をお願いしたい。	・いじめや人権に関する項目が高い評価になっているが、日常生活では人権感覚が十分ではない言動も散見されるのが現実である。担任の個人面談やHR活動を通して、多様性を認め合う態度等、人権意識の高揚を図っていきたい。また、同和教育についても高校３年間、「人間の輪」等を有効に活用し、系統的な取組を行いたい。 ・授業や部活動、学校行事での生徒同士の関わりの中で、社会性や協調性、自己同一性といった将来必要となる力を身に付けさせたい。 ・体育の授業を中心とした教育活動の中で、挨拶の励行やルールの遵守等をしっかり身に付けている結果であると思う。今後、授業の他、校外活動や交流活動をより一層経験させることで、場面に応じた適切な言動をとれる力を養っていきたい。

(6) 学校運営 会議時間の縮減にICTの活用などを含め、さらに進めていただきたい。 地域に愛され、誇れる学校、選ばれる学校を目指して、SNSやYoutubeの活用など、積極的な発信をお願いしたい。 普通科見学説明会、農業科一日体験入学、Enjoyアグリなど、中学生が南高を知る機会が多数ありありがたい。中学生の進路決定の一助となるので、今後もお願いしたい。	・運営委員会等の事前準備を効果的に行い、必要な協議時間は十分に確保しつつ、会議を効率的に進めていきたい。 ・今年、Instagramを開設したり、学校行事や周年式典、記念講演会等に報道関係者に取材に来ていただいたりする他、テレビ番組に出演したりするなど、学校の魅力の見える化に努めた。今後は、HPの改善やInstagram、Youtubeの効果的な発信をリアルタイムで行うことで、学校の今を伝えられるよう工夫していきたい。 ・説明会や体験入学を通して、本校に対する理解が進んでいることは大変ありがたい。今後の課題は、高校3年間で身に付けた力を生かせる進路に進む生徒を増やしていくことにある。そのためにも、農業や商業、英検や漢検等の資格取得や、地域社会や国際社会における課題解決に向けた探究活動を推し進めていきたい。
(7) その他 ほとんどの評価が昨年より上昇している。全ての先生が一丸となって取り組んでいる成果だと思います。 創立100周年事業を成功に導かれ、敬意を表したい。伝統ある学校の一員であるという自覚を持った生徒が多いのではないかな。	・高評価をいただいたことは大変ありがたい。今後も、今まで以上に教職員間のコミュニケーションを円滑に行い、現状の問題点の洗い出しや解決に必要なアイデアの創造を活発に行える学校作りを進めていきたい。 ・周年行事を、母校愛や帰属意識の醸造に繋げることができた。多様な生徒が在籍する本校ではあるが、一人ひとりが授業や部活動の中で存在価値や自己有用感を実感できる学校を目指していきたい。